

にじ組（2歳児）

カプラ遊び

平成30年12月5日

先日、『カプラ』で遊びました。以前から少しずつ遊び始めている子ども達。今日はどれだけ高く積み上げられるか挑戦していましたが、「先生、線路みたいに並べてもいい？」と子ども達の声が。早速、並べてみる事にしました。



どんどん並んでいくカプラ。線路の土台を作る子。枕木を並べる子。自然と役割分担ができていました。「ねえねえ〜ここ並べたから上にのせて〜」「うん、わかった！」などのやりとりをしながらどんどんと……。

凄い集中力！お部屋の半分が線路になりました！どこに線路を伸ばそうか迷っていると、「通らしてね〜」となりのお部屋を抜けてとうとう廊下にまで！！



「先生、大変」「どうしたの？」「こわれちゃった」「あら、ほんとだ」と見ていると「う〜ん、皆で修理する」と壊れた所も直して完成です。

完成したら今度は電車ごっこのはじまりです。トンネルくぐりで遊ぶ子ども達。「早く電車来ないかな？」と「待っていましたよ。」



カプラ遊びを通して子ども達は自然と役割分担ができたり、次はどうしようかと考えたり、その行動力・思考力には驚きました。子ども達のつぶやきに思わず「そうだよね」と気づかされる事もありました。

子ども達の豊かな発想力でこれからもカプラ遊びを楽しみたいと思います。